

平成二十三年八月五日受領
答弁第三六〇号

内閣衆質一七七第三六〇号

平成二十三年八月五日

内閣総理大臣 菅 直 人

衆議院議長 横路孝弘殿

衆議院議員浅野貴博君提出外務省職員による情報管理に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員浅野貴博君提出外務省職員による情報管理に関する質問に対する答弁書

一及び二について

御指摘の訪問は、丹波實外務省北米局審議官（当時）が、日本の対中東支援策について米国側と協議するためのものであり、同審議官は、ジャクソン国家安全保障会議特別補佐官（当時）、キミット國務次官（当時）、アンダーソン國務次官補代行（当時）、ローエン国防次官補（当時）等と面会した。

三及び四について

お尋ねの「電話」については、外務省が保有する文書においては確認することができないため、外務省としてお答えすることは困難である。

五及び七から九までについて

現在までに外務省で保有している文書を確認した範囲では、御指摘の著書に掲載された書類を確認するに至っておらず、お尋ねの内容についてお答えすることは困難である。

六について

公文書とは、一般に、公務所又は公務員が職務上作成する文書を意味するものと承知している。